

野生動物リハビリテーター養成講座



神奈川県は1年間にケガをして救護される野生動物の数が約2,000件(全国1位)。しかも、そのケガの多くは人間活動によるもの。だから、助けてあげたい。傷病野生動物を世話やリハビリして再び野生に帰す人材を「野生動物リハビリテーター」と言い、県内では250名以上の方が認定され、救護活動をしています。あなたも野生動物リハビリテーターになって、いっしょに活動しませんか！

日程 11月22日(木)～12月13日(木)
13:00～16:10 全4回(詳細裏面)

会場 かながわコミュニティカレッジ講義室
(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2かながわ県民センター11階)

受講料 6,000円(別途テキスト資料代3,000円)

定員 30名(最少開講10名)

※応募多数の場合は抽選、定員に達しない場合は先着順にて受付

申込締切 11月6日(火)

受講資格 神奈川県に在住・在勤・在学の方／県内でボランティアやNPO等として活動又は活動を予定している方及び団体

※ただし、実際に県内で活動できるのは、別途開催するフォローアップ(実習)を受講後、別に定める要件を満たし合格した認定者(2級)のみになります。ご了承ください。(裏面参照)

申込方法 実施団体ホームページの申込みフォームより申し込んでください。

※ホームページにアクセスできない場合には、メール・FAX等にてご連絡くだされば対応いたします。

受講料等納付 受講決定者には郵送にて通知します。指定期日までにテキスト資料代と併せて必ずお振込みください。なお、一度振込まれた受講料等は返金いたしませんのでご注意ください。



実施団体・申込問合せ先

NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部(WRV神奈川支部)

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋5-17-15皆川ハイツ102

e-mail: kanagawa@wrvj.org FAX: 045-548-4745 <http://www.wrvj-kanagawa.net/>



講座カリキュラム(講義)

野生動物(特に野鳥)の生態、習性など基礎知識から応急処置、飼育管理とリハビリ、野生復帰と一連の救護活動の流れを学びます。

1	11/22(木) 13:00~ 16:10	オリエンテーション 野生動物救護の目的とリハビリターの役割 野鳥種の特徴と見分け方(生態を含む)	WRV神奈川支部長 皆川康雄 WRV本部事務局長 箕輪多津男
2	11/29(木) 13:00~ 16:10	日本における救護の現状(関連法規を含む) 野鳥の解剖と生理(身体の構造と特徴) 野鳥のファーストエイド(救護の判断と初期対応)	前述 箕輪多津男 前述 皆川康雄
3	12/6(木) 13:00~ 16:10	野鳥のケアと飼育管理 リハビリテーションとリリース リリースの判断基準とリリース時の注意点	WRV本部幹事 金坂裕 前述 皆川康雄
4	12/13(木) 13:00~ 16:10	衛生管理と感染予防(共通感染症を含む) 生物多様性に貢献するための手法と実践	WRV本部理事 加藤卓也 前述 皆川康雄

※カリキュラム・講師は都合により変更になる場合があります。

本講座受講後のフォローアップ(実習)

1	1/10(木) 13:00~16:10	【実習】傷病鳥の捕獲、保定、搬送	前述 皆川康雄
2	1/24(木) 13:00~16:10	【実習】傷病鳥の状態把握の手順	前述 皆川康雄
3	2/7(木) 13:00~16:10	【実習】傷病鳥の強制給餌と復帰訓練	前述 皆川康雄

※実習会場は環境省水鳥救護研修センター(東京都日野市南平2-35-2)

※別途受講料(6,000円)がかかります。

- 上記フォローアップ(実習)を受講後、別に定める要件を満たし認定(2級)されると、実際に県内で救護活動できるようになります。

神奈川県野生動物リハビリター(2級)認定者の活動概要

1. 動物園等の救護施設にて、救護された野生動物の世話や野生復帰訓練のサポートを行います。
2. ケガした野生動物を発見現場にて救護の必要性を判断、自宅等での応急手当、救護施設への搬送を行います。
3. 救護原因の究明やその対策、学校での環境教育、県民への普及啓発等を行います。